

夏山集中登山 8月5日 雷鳥荘泊立山周回コース 森本 竜二

山名	雷鳥荘泊立山周回コース	山行名	夏山集中登山 立山
ルート	雷鳥荘→一の越→雄山→大汝山→富士の折立→雷鳥沢野営場→雷鳥荘		
山行日	2023年8月5日(土)	天候	晴れ
参加者	リーダー：森本 サブリーダー：幾田 男性：川田、宮内、山下、山田 女性：伊藤典、上田、大西、大林、蒲田、川田 高橋、高山、多田、森田、米田 合計：17名		

ルート概略図	コースタイム					
	地名	時：分	地名	時：分		
	雷鳥荘	集	富士の折立	着	10:25	
		発		5:30	発	10:55
	一の越	着	7:03	雷鳥沢野営場	着	14:10
		発	7:21		発	14:15
	雄山	着	8:30	雷鳥荘	着	14:35
		発	9:10		発	
	大汝山	着	9:34		着	
		発	10:13		発	

<活動データ>タイム9時間5分(休憩2時間10分)/距離7.7km/上り863m下り870m
 8/4(金)立山黒部アルペンルートの長野側の起点扇沢から電気バスで黒部ダムへ。ダム散策後ケーブルカー・ロープウェイ・トロリーバスを乗り継いで立山室堂へ到着。間近に迫る立山連峰を背に記念撮影。そして宿泊地の雷鳥荘又は雷鳥沢野営場へ向かった。
 8/5(土)大日岳コース・別山コースのメンバーに見送られて5:30出発。「気持ちいい。」の声の中、みくりが池に映る立山連峰を横目に室堂平へ。一の越まではコンクリートと石の道が続くが雪渓もあり滑らないように横切る。一の越からは岩場だが訓練登山の成果で順調に雄山に到着、有志が神社に参拝し「バンザイ」と大声で唱える。15分程で大汝山へ、混み合う山頂で順番に写真撮影し速やかに直下の休憩所で小休止。富士の折立に10分程で到着すると、休憩中のテント泊立山周回コース組と行き会う。情報交換後に有志が険しい岩場の山頂へ登頂した。立山三山(100名山)登頂後に体調不良者がでたため真砂山は中止して下山することにする。ザレ・ガレで滑りやすい大走りをゆっくり3時間かけて色とりどりのテント張りの雷鳥沢野営場へ無事到着。ここから雷鳥荘までの20分の上りがきつかった!上りは休憩時間を少なめに行動食で移動、下山に時間をかけたが登山計画タイムで終了。その後に雨が降り出し、早立ち早着の鉄則を実感した。SL、班長さん、参加者皆様お疲れさまでした(拍手)。温泉と富山名物昆布メ付の食事で最高の日になりました!

ヒヤリハット



雷鳥荘泊立山周回コース・弥陀ヶ原コース 感想文

山下 夏の立山登山は今回で3回目になる。今回は、なにもかも120点だった。黒部湖ルートも初めてだし、3日間とも天気よし、槍や剣の姿も眺められたし、雄大な景色の中に溶け込みながらの周回コースを山病にならずに84才で無事行けたこと。雷鳥荘の食事ではホテル並みの豪華さで温泉もありトイレも水洗で清潔！ただ天狗平山荘から弥陀ヶ原までの「美松坂コース」は展望無しで足元も良くななく、2hrの悪路には閉口した。重い荷物を持つテント組には大変なハイキングに見えた。昨年の八ヶ岳、今回の立山と3000m級の高山に行けたので、来年も参加出来るのではと期待が膨らむ。これからも日頃の鍛錬に更に努めようと思う。今回ほどテント組の多い夏山登山は今までに無かったことで、後期青春時代を楽しむ会員の姿を見て、若返った山友会の逞しさ・力強さを感じうれしくなる。森本山行部長・黒崎さんのパズルを解くような綿密な計画には敬服と感謝するとともに山行部の皆さんの協力下でのリードで、無事に5コースの夏山一斉登山が完結できて、ほんとうにありがとうございました。



山田 この度、夏山登山に参加するに当って初めての山小屋の泊まりと3千mの高山に多少の不安がありました。しかし、立山の室堂に着いた途端、美しい山々の絶景に不安は無くなり、また今回、山友会に入会して約一年でアルプス登頂が出来たことは自分にとっては「奇跡」です。これもひとえに山仲間の適切な山行計画と山歩きでの様々なアドバイスのお陰だと感謝しています。最後に、山小屋でのビールは最高でした。

森田 山友会に4期生で入会后、3000m級の夏山合宿登山(立山)は初めての体験でした。経験が浅く、迷惑を掛けないかという不安もありましたが、日本三霊山の立山に登れるという期待、喜びをもっての参加でした。森本さん、班長の上田さんにアドバイスをいただきながら立山周回コースを登り切れたことで喜びと大きな達成感を味わえました。この達成感は何ものにも代え難いものです。3日目の天狗平から弥陀ヶ原までのコースは、思っていた以上に難コースで集中力が必要でした。自分への今後の課題として、脚力強化と体幹アップ、判断力を身につけることだと感じました。素晴らしい景色、立山の山並み、高山植物の花々を見られて幸せいっぱいでした。夏山登山(立山)に参加してほんとに良かったです。

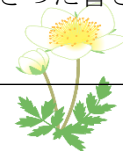
高山 お天気に恵まれての登山。初めて三千mを超す山に登れ、感無量。雄山の神社で、皆と万歳をしたのは、良い思い出です。初日に通った黒部ダムが遙か下に見えたことが、ここまで登ったんだと再認識。お世話になった方々に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

多田 2日目の周回コース登山では、雄山、大汝山、富士の折立のあと、真砂岳や別山方面に行くか、大走りを下るかでいろいろ意見がある中、体調面や時間、全員の安全等を考え、森本さんを始め、山行部の方々が大走りに決定して下さり、ゆっくり時間をかけて安全に下山することができ、よかったです。適確な判断だったと思い感謝しています。

川田 (真) 今回、始めて夏山登山に参加させてもらい、とてもいい経験になりました。雷鳥荘に到着してほどなく高山病の症状がでて、このまま下山するしかないのかと思いましたが、翌日には元気に登ることができ、少しは自信がもてました。素晴らしい景色を眺めながらの登山は最高でした。山友会の皆様のお陰です。感謝感謝です。また来年も参加できるよう日々体力作りがんばります。

宮内 体力不足、体調不良、高山病など考えれば昨年の白山登山を思い出し不安になる数ヶ月だった。今回、周回コースを仲間と一緒に登頂し無事下山でき、達成感を得られた。先輩方のおかげで登頂、下山できたこと、本当にありがとうございました。

原田 3日目も快晴で天狗平まではお花畑や立山の峰々を見ながらの快適な山歩きでした。一方天狗平からは展望のないクマザサの生い茂る悪路で滑りやすい苔のついた岩や丸太の橋が続き、緊張を強いられましたが、班長の上田さんが草花の名前を教えてください、すっぱいイチゴを食べてみたりして楽しく下山することができました。一緒に歩いてくださった皆さま、ありがとうございました。



仲野 立山登山3日目。室堂からしばらく歩くと、前日に真砂岳の山頂から頭だけ見えていた剣岳が見事な山容を見せてくれました。高原の夏の緑とチングルマの綿毛の風に揺れている様子と剣岳の力強い山容が絵画のようで本当に素晴らしい景色でした。3日目はテント装備を持っての山行。石畳や木道を歩いて、弥陀ヶ原にハイキングのように向かうはずなので『荷物の重量があっても大丈夫』と思っていたら、イメージとは違う道のりで藪をかき分け、朽ちかけた橋をわたり、雨上がりでつるつる滑る石を超えながらのアドベンチャーでした！下りが苦手な上に石がつるつる滑ることに困っていると、経験豊かな先輩部員がすぐ前を歩いて足の置くところをガイドくださり、温かいご指導に感謝いたします。滑って足元を取られたとき荷物の重さで持ちこたえられずに思わず尻もちをついた時も「今のこけ方はとても上手だったねえ。そのこけ方なら、怪我をしないよ！」とこけ方をほめてくださり気持ちがほっこりしました（笑）そんなこんなで、3日間の立山登山を怪我なく終えられ満喫いたしました。ありがとうございました。